

個人質問

安全な道路の確保と多目的広場を求めて！

誠和会

湯浅 祐徳



道路整備について

問

JR榎戸新田第一踏切付近の市道15009号線、13018号線は、抜け道として利用されていることから、車両の通行が増え、大変危険な状況にあり、道路の拡幅が必要と考える。また、歩行者に配慮した整備も必要と考えるが如何か。

市長

現道を拡幅し整備するには、JR榎戸新田第一踏切の拡幅工事等も必要となることから、費用対効果を考慮すると、現段階での整備は非常に難しい状況です。

◀ 狭く危険な道路



榎戸サッカー場について

問

平成20年12月定例会において、榎戸サッカー場の利用実態を質問し、地域住民に多目的広場として開放することを求めてきたが、その後の検討状況について伺う。

教育長

榎戸サッカー場の現在の利用状況については、土曜・日曜日・祭日の利用が主となっており、年間を通じ、常時開放することとは難しいかと思われま

す。しかし、サッカーでの利用を優先とし、サッカー以外での利用については、サッカー場としての管理上支障がない範囲での利用であれば、有効利用を図っていきます。なお、子どもたちの安全な遊び場を確保する観点から、本市では平成19年度より夏休み期間中、北部グラウンドの一部分を遊び場開放し、本年においても月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時まで開放しており、榎戸サッカー場について

市民体育祭について

問

市民体育祭について、雨天中止ではなく、順延する措置を導入すべきと考えるが如何か。

教育長

各支部長及び各主管団体の長などで行われている反省会で、予備日を含めた選手、役員などの確保が困難であるとの意見があり、協議した結果、予備日を設けないこととしました。主催者として

も、行事を実施したいと考えていますが、予備日を設けることになりま

個人質問

新型インフルエンザに対する市の対応を問う！

誠和会

山口 孝弘



新型インフルエンザ対策について

問

新型インフルエンザが、正式に「流行」入りと発表された。感染拡大を最小限に食い止め、正確な情報を正しく伝えることが、市民の命を守る上でも重要なことだが、本市の対応について伺う。

市長

感染の疑いのある患者に発熱外来の紹介等を行っていた「発熱相談センター」の名称が、「新型インフルエンザ相談窓口」と変わり、相談受付時間も変更になったことから、市のホームページを

更新し、周知をしています。さらに、市民の方に予防を呼びかけるため、新たにポスターを作成しており、妊婦や乳幼児に

いては、本人及び保護者に対して、登校前の健康観察や発熱時の早目の医療機関での受診、手洗いやうがいによる予防について周知しています。今後の対応については、第1波の流行のピークが10月頃になる予想もあることから、市民に対する情報の提供や予防の周知を行い、市職員の感染により、市役所の機能が低下しないよう予防対策に努めます。

問

現在、本市ではどれだけの人が新型インフルエンザに感染しているのか伺う。

市民部長

9月9日現在、幼稚園で1名、小・中学校で24名、保育園2園で4名というところで把握していますが、この新型インフ

ルエンザは、季節性のインフルエンザと同様に一般医療機関で受診となっていますので、一般の方の把握が非常に難しい状況にあります。

市民部長

国では、人口の約2割強にあたる約2千500万人程度の方が受診されると推計されています。これを八街市に当てはめると、1万4千人程度の方が受診されると予想されます。

問

秋に向け様々なイベント、行事が予定されているが、影響が出る可能性があるのか伺う。

市民部長

感染が拡大した場合には、各主催者等の判断で中止等の対応をしている。ただ、ことになるとは思いません。

※その他の質問

◆職員提案制度及び褒賞の充実について

◆インターンシップ制度について

◆地域包括支援センターの充実について

◆選挙の投票率を上げるための方策について

10月に第1波のピークを迎えるが、本市では、インフルエン